

関大探検部 10 年の歩み

昭和33年4月、探検部設立準備会が設立され、同年11月に探検部結成式が行なわれて活動が開始されて以来、早や10年の歳月を教えようとしているのである。

設立当時我が部が当面の活動として取り上げたのは離島調査であった。北は礼文島から南は沖縄八重山群島まで調査が進められていった。その調査内容は、いわゆる生活調査ともいべき島の総合調査であった。そして昭和35年、純粹の地理的探検をめざす技術研究会が発足し、山岳技術を中心として活動され、型の上で離島と山岳に分かれて活動されるようになった。そのうち技術研究会から洞窟活動が、学術探検をめざす離島班からボート、アクアラングと、各、総合化したパートとして現在に至っているのである。

以下過去10年の主な活動を示す。

〔昭和33年度〕

- 4月 探検部設立準備会
- 11月 探検部結成式
- 1月 離島調査計画決定
- 3月 屋久島、種ヶ島調査隊出発
- 4月 トカラ列島調査隊出発

〔昭和34年度〕

- 5月 新人部員歓迎会
- " 奥穂高行
- 6月 探検講座「西南亜細亜巡り」加藤一郎
教授
- 7月 夏期合宿
- 9月 春期離島調査決定
- 10月 礼文島、与論島先発隊出発
- " 塩飽諸島調査
- 12月 一周年記念コンパ
- 3月 八方尾根スキー合宿
- " 礼文、与論、喜界島、調査隊出発

〔昭和35年度〕

- 5月 大峯山行
- " 六甲西山谷行
- " 唐松、王竜行
- 6月 探検講座「沖縄紀行」横田健一教授
- 7月 夏期大峯山縦走合宿
- 舩倉、能登半島調査
- 8月 八丈島行
- 穂高行
- 10月 文化会加入
- " 河内の風穴調査
- 12月 三周年コンパ
- " 冬期合宿
- 1月 八方尾根合宿
- 2月 岡山県新見行
- 3月 探検講座「フィールド・ノートのと
り方」吉田民人専任講師
- " 新見洞穴調査隊出発

3月 北海道焼尻島、天売島出発

〔昭和36年度〕

4月 比良山行

5月 探検講座「ノシヤック、バミール遠征

報告」吉井良三京大助教授

探検講座「記録写真の撮り方」

仲生時、毎日新聞

6月 関西四大学探検部シンポジウム

" 北アルプス縦走

7月 沖繩、八重山群島学術調査隊出発

8月 北ア合宿

10月 「沖繩、八重山群島展」阪急デパート

11月 知床半島行

「関大黒菱山の家」落成式

12月 平尾合行

" 冬期合宿

3月 青ヶ島班出発

" 知床班出発

" 吉野川ボート班出発

〔昭和37年度〕

5月 大峯合宿

7月 立山〜鷲 合宿

" 沖繩諸島、大東諸島合宿調査

8日 飛島調査（山形県）

12月 八方尾根冬期合宿

1月 餓鬼岳、唐沢岳、技研冬期合宿

3月 トカラ列島調査

" 鹿島、槍ヶ岳、爺ヶ岳行

" 飛騨高地総合調査春期活動

〔昭和38年度〕

4月 四部合同連絡協議会

5月 第2回4部連絡協議会

7月 第3次沖繩学術調査隊出発

" 飛騨郷踏査隊出発

8日 黒部川溯行

12日 八方尾根、五竜、不帰岳冬期合宿

3日 岩手チベット踏査

" 尾久島春期技研活動

" 伊吹島調査出発

〔昭和39年度〕

2月 尾久島縦走

3月 岩手チベット踏査

" 香川奥、伊吹島調査

" 沖永良部島、泊町一帯の鍾乳洞調査

4月 四部合同協議会コンパ、蓬萊峽

" 赤沢岳西尾根合宿

6月 比良新人強化合宿

7月 夏季全体合宿北アルプス湯俣〜横尾

" 穂高岩登り合宿

8月 黒部川上之廊下溯行

赤牛沢溯行

" 潜水合宿 和歌山県白木海岸

" 吉野川航行

" 鷲嶺水穴総合調査 三重県鷲嶺山麓

10月 第二次鷲嶺水穴総合調査

12月 関西探検連絡協議会

" 日本探検連絡協議会

" 関西探検連絡協議会

" 技研冬期合宿 湯俣尾根〜赤牛岳〜高
嶺尾根

" 第一次岐阜県郡上郡八幡町洞窟群調査

〔昭和40年度〕

3月 第二次岐阜県郡上郡八幡町洞窟群調査

" 第二次知床半島遠征

知床岳・硫黄山・羅臼岳

" 徳之島総合調査

4月 鹿島槍東面合宿

" ベルー・アンデス学術調査隊新大阪駅
出発

5月 関西探検連絡協議会

" ベルー・アンデス学術調査隊伊丹出発

6月 比良新人強化合宿

" 四部合同協議会コンパ 蓬萊峽

" 新潟県青海洞窟群偵察、最上川偵察

6月 宇和島偵察

7月 南アルプス：赤石沢及び縦走

8月 第三次岐阜県郡上郡八幡町洞窟群調査

" 北海道根釧原野開拓部落調査

" 北宇和海潜水調査

" 第一次新潟県青海洞窟群調査

9月 関西連絡協議会

10月 冬山北鎌尾根偵察

" 中央アルプス縦走

" 三大学合同第二次新潟県青海洞窟群調
査

